



平成23年2月期 第1四半期決算短信

平成22年7月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 サンエー

コード番号 2659 URL <http://san-a.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 上地 哲誠

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 諸見 明良

TEL 098-898-2230

四半期報告書提出予定日 平成22年7月14日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年2月期第1四半期の連結業績(平成22年3月1日～平成22年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年2月期第1四半期	34,699	—	2,309	—	2,403	—	1,399	—
22年2月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年2月期第1四半期	87.56	—
22年2月期第1四半期	—	—

(注)平成22年2月期第4四半期より連結財務諸表を作成しているため、平成22年2月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率の記載はしておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年2月期第1四半期	82,977	58,847	69.1	3,589.15
22年2月期	88,018	57,997	64.3	3,539.78

(参考) 自己資本 23年2月期第1四半期 57,361百万円 22年2月期 56,572百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年2月期	—	—	—	37.00	37.00
23年2月期	—	—	—	—	—
23年2月期(予想)	—	—	—	37.00	37.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成23年2月期の連結業績予想(平成22年3月1日～平成23年2月28日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	71,581	—	4,918	—	5,018	—	2,936	—	183.74
連結累計期間	140,142	2.3	9,185	4.3	9,343	4.2	5,461	9.4	341.74
通期									

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

平成22年2月期第4四半期より連結財務諸表を作成しているため、第2四半期連結累計期間での対前年四半期増減率は記載しておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年2月期第1四半期	15,990,827株	22年2月期	15,990,827株
② 期末自己株式数	23年2月期第1四半期	8,808株	22年2月期	8,744株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	23年2月期第1四半期	15,982,051株	22年2月期第1四半期	—株

(注)平成22年2月期第4四半期より連結財務諸表を作成しているため、平成22年2月期第1四半期の期中平均株式数(四半期連結累計期間)は記載しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、実際の業績等は今後さまざまな要因によって記載の予想数値と異なる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期会計期間（平成22年3月1日～平成22年5月31日）におけるわが国経済は、一部に回復基調があるものの、雇用情勢の悪化や将来への不安から個人消費は低迷し、依然として厳しい状況が続いております。

小売業界におきましては、個人消費が低迷する中、他業態を巻き込んだ競争の激化や低価格販売による競争により商品単価が下落するなど、依然として厳しい状況が続いております。

このような環境の中、当社グループの中核である「株式会社サンエー」は、経営方針を「お客様の立場で考える」とし、全ての基本はお客様の信頼と支持が原点であることを再認識し、企業理念の浸透、七大基本（クリンリネス、鮮度と味、品揃え、価格、陳列技術、サービス、正しい表示）の徹底、既存店の活性化、効率化を図るとともに商品力の強化、情報システム開発、人事制度改革等を行いました。

店舗展開につきましては、3月に「V21うえばる食品館」（沖縄県那覇市）、4月に「豊見城ウイングシティ」（沖縄県豊見城市）を改装して、その一部に「葉マツモトキヨシ」をそれぞれ出店いたしました。また、4月に「つかざんシティ」（沖縄県島尻郡南風原町）のフードコートを改装し、「大阪王将」を出店いたしました。

連結子会社の株式会社ローソン沖縄は、3店舗新規出店し、1店舗閉店いたしました。

その結果、当第1四半期連結会計期間における営業収益（売上高及び営業収入）は、346億99百万円、営業利益は23億9百万円、経常利益は24億3百万円、四半期純利益は13億99百万円となりました。

なお、平成22年2月期第4四半期より連結財務諸表を作成しているため、前年同期との比較分析は行っておりません（以下「2. 連結財政状態に関する定性的情報」においても同じ。）。

「小売部門」

小売部門におきましては、家電商品が引き続き好調に推移した結果、売上高は313億86百万円となりました。

衣料品は、天候不順等の影響もあり、売上高は35億5百万円となりました。

住居関連用品は、経済対策によるエコポイント効果により家電商品が好調に推移したことにより、売上高は96億89百万円となりました。

食料品は、低価格販売による競争激化で商品単価が下落しましたが、積極的な販売促進を実施したことにより、売上高は181億90百万円となりました。

「外食及びホテル部門」

外食及びホテル部門におきましては、お客様の低価格志向が強まる中、積極的な販売促進やQSC（良い品質、良いサービス、清潔な環境）の向上に努めてまいりました。その結果、売上高は15億31百万円となりました。

「CVS（コンビニエンスストア）部門」

CVS部門におきましては、個人消費の低迷や天候不順が続いたことにより、厳しい環境となりましたが、株式会社ローソンの企業理念「私たちは“みんなと暮らすマチ”を幸せにします。」の具現化を目指し、CVS事業及びその他の事業を通じたCS（お客さま満足）の向上を実現するための施策を実行いたしました。また、沖縄の企業として地域に密着した商品開発・販売促進を実施いたしました。その結果、売上高（直営店）は75百万円、営業収入は6億97百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債、純資産等の状況

① 資産

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して50億40百万円減少し、829億77百万円となりました。

主な要因は、前連結会計年度末が金融機関の休業日であったことにより、仕入債務等62億83百万円の支払が当第1四半期連結会計期間に繰越され「現金及び預金」が減少したことによるものであります。

② 負債

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比較して58億90百万円減少し、241億30百万円となりました。

主な要因は、前連結会計年度末が金融機関の休業日であったことにより、仕入債務等62億83百万円の支払が当第1四半期連結会計期間に繰越され仕入債務等が減少したことによるものであります。

③ 純資産

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して8億49百万円増加し、588億47百万円となりました。

主な要因は、利益剰余金が8億8百万円増加したことによるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より53億76百万円減少し、143億66百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動に使用した資金は43億68百万円となりました。

主な要因は、税金等調整前四半期純利益23億99百万円の計上があったものの、前連結会計年度末が金融機関の休業日であったことにより、仕入債務等の支払62億83百万円が当第1四半期連結会計期間に繰越されたことによるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動に使用した資金は2億46百万円となりました。

主な要因は、有形固定資産の取得による支出2億65百万円であります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動に使用した資金は7億62百万円となりました。

主な要因は、長期借入金の返済による支出1億61百万円及び配当金の支払額5億64百万円であります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年2月期の連結業績予想につきましては、平成22年4月14日付の平成22年2月期決算短信で発表いたしました連結業績予想から変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

① たな卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を一部省略し、前連結会計年度末の実地棚卸を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,366	19,743
売掛金	1,550	1,225
商品及び製品	8,573	8,203
原材料及び貯蔵品	197	183
その他	1,908	1,803
流動資産合計	26,597	31,158
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	19,418	19,792
土地	22,880	22,880
その他（純額）	2,626	2,647
有形固定資産合計	44,924	45,320
無形固定資産		
のれん	1,556	1,597
その他	331	333
無形固定資産合計	1,888	1,931
投資その他の資産	9,566	9,608
固定資産合計	56,380	56,859
資産合計	82,977	88,018
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,658	11,105
1年内返済予定の長期借入金	585	585
未払法人税等	1,150	1,967
賞与引当金	1,387	853
商品券等回収損失引当金	23	24
その他	5,895	7,861
流動負債合計	16,700	22,397
固定負債		
長期借入金	2,241	2,403
退職給付引当金	1,860	1,844
役員退職慰労引当金	417	406
その他	2,910	2,968
固定負債合計	7,429	7,623
負債合計	24,130	30,020

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,723	3,723
資本剰余金	3,686	3,686
利益剰余金	49,826	49,018
自己株式	△24	△24
株主資本合計	57,211	56,403
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	150	169
評価・換算差額等合計	150	169
少数株主持分	1,485	1,424
純資産合計	58,847	57,997
負債純資産合計	82,977	88,018

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年5月31日)
売上高	32,993
売上原価	23,007
売上総利益	9,985
営業収入	1,706
営業総利益	11,691
販売費及び一般管理費	
給料	3,136
賞与引当金繰入額	546
退職給付費用	60
役員退職慰労引当金繰入額	10
減価償却費	717
のれん償却額	40
その他	4,869
販売費及び一般管理費合計	9,381
営業利益	2,309
営業外収益	
受取利息	14
受取配当金	3
債務勘定整理益	21
その他	77
営業外収益合計	117
営業外費用	
支払利息	14
商品券等回収損失引当金繰入額	3
その他	6
営業外費用合計	24
経常利益	2,403
特別損失	
固定資産除却損	4
特別損失合計	4
税金等調整前四半期純利益	2,399
法人税、住民税及び事業税	1,119
法人税等調整額	△180
法人税等合計	939
少数株主利益	60
四半期純利益	1,399

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第1四半期連結累計期間
 (自 平成22年3月1日
 至 平成22年5月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	2,399
減価償却費	717
固定資産除却損	4
のれん償却額	40
賞与引当金の増減額(△は減少)	534
受取利息及び受取配当金	△17
支払利息	14
売上債権の増減額(△は増加)	△325
たな卸資産の増減額(△は増加)	△383
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,447
未払金の増減額(△は減少)	△1,031
預り金の増減額(△は減少)	△660
その他	△338
小計	△2,494
法人税等の支払額	△1,873
営業活動によるキャッシュ・フロー	△4,368
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△265
利息及び配当金の受取額	13
その他	5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△246
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△161
利息の支払額	△15
配当金の支払額	△564
リース債務の返済による支出	△20
自己株式の取得による支出	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△762
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△5,376
現金及び現金同等物の期首残高	19,743
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,366

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第1四半期連結会計期間（自 平成22年3月1日 至 平成22年5月31日）

小売部門の売上高、営業利益及び資産の金額は、全セグメントの売上高の合計、営業利益及び全セグメントの資産の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

[所在地別セグメント情報]

当第1四半期連結会計期間（自 平成22年3月1日 至 平成22年5月31日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

当第1四半期連結会計期間（自 平成22年3月1日 至 平成22年5月31日）

海外売上高がないため該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

【参考】

四半期個別財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年5月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,075	19,692
売掛金	1,550	1,225
商品及び製品	8,560	8,196
原材料及び貯蔵品	197	183
その他	1,566	1,403
流動資産合計	25,950	30,701
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	17,904	18,289
土地	22,880	22,880
その他（純額）	3,065	3,120
有形固定資産合計	43,850	44,289
無形固定資産	330	332
投資その他の資産	10,764	10,792
固定資産合計	54,945	55,414
資産合計	80,895	86,116

	当第1四半期会計期間末 (平成22年5月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,658	11,105
1年内返済予定の長期借入金	585	585
未払法人税等	1,150	1,967
賞与引当金	1,370	839
商品券等回収損失引当金	23	24
その他	5,730	7,813
流動負債合計	16,518	22,335
固定負債		
長期借入金	2,241	2,403
退職給付引当金	1,860	1,844
役員退職慰労引当金	414	405
その他	2,531	2,565
固定負債合計	7,048	7,219
負債合計	23,567	29,554
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,723	3,723
資本剰余金	3,686	3,686
利益剰余金	49,792	49,007
自己株式	△24	△24
株主資本合計	57,177	56,392
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	150	169
評価・換算差額等合計	150	169
純資産合計	57,328	56,561
負債純資産合計	80,895	86,116

(注) この四半期貸借対照表は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

	前第1四半期累計期間 (自 平成21年3月1日 至 平成21年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年5月31日)
売上高	32,187	32,917
売上原価	22,335	22,951
売上総利益	9,852	9,965
営業収入	1,014	1,009
営業総利益	10,867	10,975
販売費及び一般管理費	8,559	8,740
営業利益	2,307	2,234
営業外収益		
受取利息	5	14
受取配当金	3	3
債務勘定整理益	17	21
その他	27	67
営業外収益合計	54	106
営業外費用		
支払利息	17	14
その他	4	8
営業外費用合計	21	23
経常利益	2,340	2,317
特別損失		
固定資産除却損	0	2
特別損失合計	0	2
税引前四半期純利益	2,339	2,315
法人税、住民税及び事業税	1,134	1,119
法人税等調整額	△186	△180
法人税等合計	947	938
四半期純利益	1,392	1,376

(注) この四半期損益計算書は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。